

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏 名	松嶋 美正		
入学年度	平成 23 年度	学籍番号	11GG606
領 域	健康支援科学	分 野	老年保健学
審査委員	主 査	尾田 敦	
	副 査	石川 玲	
	副 査	中村 敏也	
	副 査	對馬 均	

論文題目：高齢者における示指と足部の 3 分間セルフペース・タッピング運動の特性

審査結果要旨：

提出された審査論文では、人間の連続反復動作における運動の速度とばらつきに焦点を当て、高齢者と若年者の示指と母趾のタッピング課題遂行能力の比較から、加齢による影響とその要因を明らかにすることを目的とした研究が、リズム形成という観点から展開されており、研究の理論的背景の検討も含め、系統的に記述されていた。

先行研究の多くが、肩や肘の動きを含む複雑な課題をメトロノームなどの外的刺激に同期させて短時間行なう課題が用いられているのに対して、本研究では、セルフペースでの単純課題とし、かつ 3 分間という比較的長い時間でのタッピング課題を採用してその時間的变化を検討している点に独創性がある。また結果から、セルフペースでのタッピング課題では速度よりもタッピング間隔の方がより加齢の影響を受けやすいことが明らかとなり、本研究で用いたセルフペースでのタッピングには、小脳を中心とした中枢神経系の退行変化を反映していることが示唆されたことは新規性に富む有益な成果である。

こうした研究の意義と結果については、学位審査会における発表および質疑応答において的確に示されており十分に理解されていた。また研究フィールドの開拓や対象者の協力を得るための倫理的配慮など、本申請者が独立して研究を遂行能力と高い倫理観を身につけていることを学位論文及び学位審査会からうかがわれた。以上より、本論文は博士の学位に値するものと考えらる。

最終試験          平成 26 年 2 月 1 日

試験の結果は      合      格      と判定する。